

論文名：日本人自立高齢者における75歳時と80歳時の食事エネルギー密度の把握と比較

新潟大学大学院医歯学総合研究科（論文博士は氏名のみでも可）

氏名 安藝 真里子

【要約】

自立高齢者の75歳時と80歳時の食事エネルギー密度を調べて、比較検討した。対象者（1927年生まれ）は、新潟市高齢者コホート調査（1998年－2008年）に参加し、両年齢の調査結果の揃った225名（男性113名、女性112名）である。食事調査は簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）を用いて行い、食事エネルギー密度（kcal/g）はエネルギー摂取量（kcal/d）と飲み物を除く食品重量（g/d）から算出した。年齢別の比較では、男女ともに75歳時のエネルギー摂取量は80歳時まで維持されていた。しかし、食事エネルギー密度は、女性では1.24 kcal/gから1.29 kcal/gへと上昇（ $p<0.01$ ）し、菓子類の摂取量も増加（ $p<0.01$ ）したが、男性では1.29 kcal/gと1.30 kcal/gで変化はみられなかった。また、性別の比較では75歳時には男女差がみられた（ $p<0.05$ ）が、80歳時ではみられなかった。以上の結果から、女性では、高エネルギー密度食品の摂取量増加が食事エネルギー密度の上昇に関与する可能性が示唆された。